

平成二十六年 度（第2回）高校生世代「人権の詩^{うた}」

【入選】

ありふれた幸せ

尾田 惇

幸せってなんだろう

豪邸に住むことだろうか

外車に乗ることだろうか

いいや、そんなんじゃない

「あたたかい」洋服があること

「いただきます」って食べられる物があること

「おやすみ」ってぐっすり眠れる場所があること

そう、そうかも。これが小さな幸せかも
でも、なんかちがう。

「ただいま」って言える家がある

「おかえり」って聞こえる家族がいる

「おめでどう」って言いたい人がある

「好きです」って伝えたい人がある

「こんにちは」って返してくれる人がある

「じゃあね」って言える人がある

「ごめんね」って謝れる人がある

「がんばろう」って言える人がある

「大丈夫」って気にかけてくれる人がある

本当の幸せってこういうことなんだろう

当たり前前に思えることのひとつひとつが

どこにでもあるありふれた、でも本当の幸せなんじゃないか